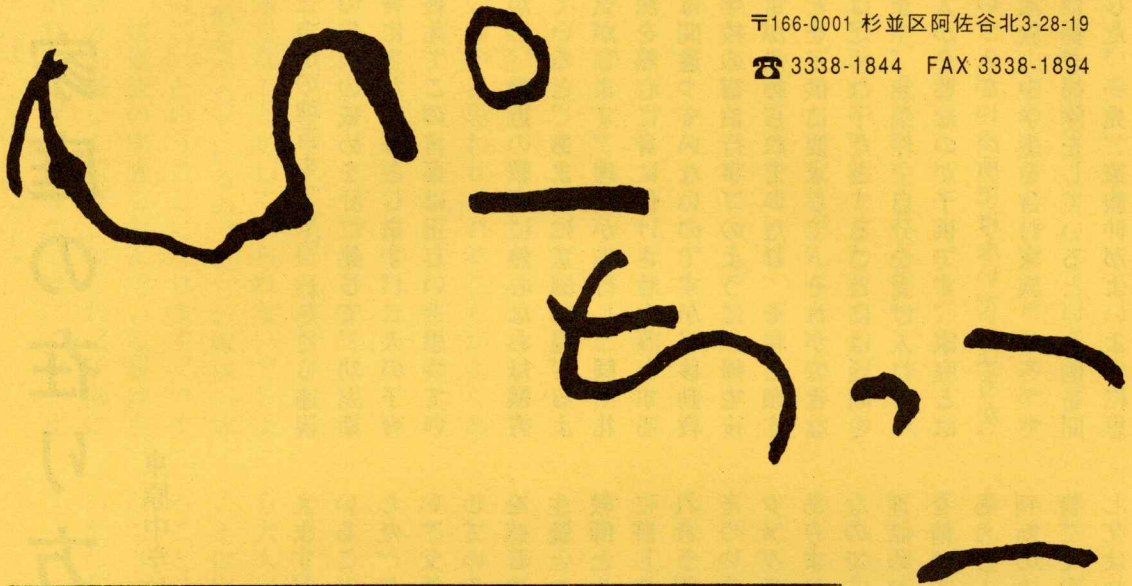


発行 社会福祉法人 聖友ホーム
 聖友学園 (児童養護施設)
 〒166-0001 杉並区阿佐谷北3-28-19
 ☎ 3338-1844 FAX 3338-1894



聖友学園

おたのしみ会

8/26

どなたでも
さそいあって。ぜひきてくださ

聖友学園
おたのしみ会
のお知らせ

ゲーム・やきそば・たこやき・ジュース...
 いろいろあるよ！みんなでおそびにきてね！
 花火もありますよ！(心)！
 <実行で食事をもらってね>

8月26日(水) 聖友学園にて

5:30～うけつけ
 5:45～レクリエーション
 6:15～せぎ屋
 7:30～花火
 8:00 おわり

- 雨天中止のお知らせは4時です
- 自給菜は出るだけ出るまで来て下さい
- 食べ物には限りがあります。お早めにどうぞ
- お家の人にこのお知らせを忘れずに見せて下さいね。

保護者の方へ
 日替りしてくださっているお弁当さんより多く食べていただくようにと
 今年度よりお弁当を準備することになりました。
 (もちろん、お弁当をお持ちでない方も入場していただけます)
 今年度で新しい設備はあります。
 保護者の方や保護者の負担などのご心配を学園の方より感じませんので、
 今年度よりお持ちの心算を、
 どうぞお持ちください。
 どうぞお持ちください。
 今年度よりお持ちの上、どうぞ保護者の方と一緒にご参加下さい。
 学園職員・子ども一人一人大歓迎しております。
 お問い合わせは... 聖友学園 阿佐谷北3-28-19 03-3338-1844
 ※ご不明な点は何なりとご連絡下さい

目次 ●コラム「家庭の在り方」東原中学校 阪田信子 2

●ふわふわ 4

●あっちこっち 6

●このゆびとまれ・もぐもぐ 7

●etc 8

家庭の在り方

東原中学校校長

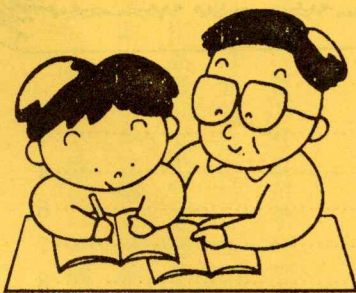
阪田 信子

「三つ子の魂百までも」、わたくし達親はこの先人の戒めを肝に銘じて、幼児期の教育に当たろうとします。二人の子育てを終えてこの言葉は正しいと思っております。

しかし、最近の教育に熱心なお母様方を見てみると、あまりに意図的過ぎるような気がします。理論が先行し、躾や礼儀作法を熱心に身に付けさせようとすることは間違っていないのですが、移動教室（学校の宿泊行事）のように、帰宅後の予定が決められていたり、それに類することを子供に要求して、それができなくてはだめな子だとすることには疑問を感じます。無条件で自分を受け入れてくれる人が必要なのが子供です。家庭とはそういう人がいる所ではないでしょうか。朝、家族（中学生を含む家族）そろって一緒に掃き掃除をしているという例を聞きました。一見、家族仲がよいように思

えますが、中学生がこの計画に参加していることにわたくしは不自然さを感じました。母親が先導して小さな（おとなしい）父親と男の兄弟がおとなしく掃除をしているということに理詰めの親子関係を感じました。母と子というより教師と生徒という関係です。といっても、今の教師と生徒の関係はむしろもつと、寛大に許してしまうところがあって、肌の触れ合う関係かもしれません。タメグチがそういう関係を作るのに役立っています。タメグチについてはわたくしは賛成ではありませんが、温かい関係はとも大切なのです。家庭の中にそれがなくなつて理詰めの関係だけが残っているのが子供を情緒不安定にしまうのでしょうか。もうひとつ家庭に必要と考えることは、判断のよりどころである良識ある感性を育てておくということです。感性と表現してよいのか言葉については自信があり

ませんが、理論で考えてこれは正しいこれは合っていると感じる力のことです。ある事象について、「ん？これはおかしい」と感じるのもこの感性です。例えば、こういう話があります。向田邦子さんが戦争中空襲警報で逃げる時、家の中に忘れ物をして靴のまま畳の上を歩かなければならなくなつたが、上に乗るのにとてためらわれたというのがありました。あるいは、これはテレビで見た話ですが、ある飲み屋さんでカウンタに落花生が山盛りになつていて自由につまみで食べてもよい、そして殻は床に捨ててよいと言われた若い取材の女性二人が「エーほんとに床に捨ててもいいんですか。」と一



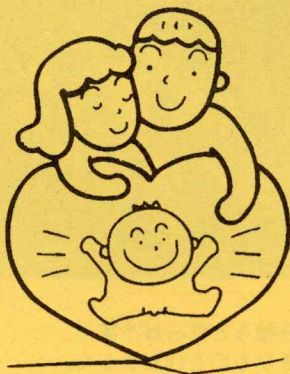
瞬ためらいをみせたのですが、これがその人の感性なのです。こういうものは、その人の小さい頃からの育てられ方で身に付いてくるものなのです。母親はそういうことも意識して子育てをしないとなりません。これはとても大事なことです。これこそいわゆる躰と言われるものなのでしょう。また、家族だんらんを必要なくとも思う育て方をすれば、家庭を大事にする大人になるでしょう。最近のようにファミリーストランで食事をとる親にはならないでしょう。母親の勤めは何か家庭にしてあげられることは何なのか、そういう考え方ができるといいと思います。最近、家庭がこのような状態がいいのかと思わせられることがよくあります。これも、核家族の悪影響と考えています。核家族の親は自分を見ている目がないので、どうしても安きに流されてしまいがちです。年寄りの目があると、適当なことをしていられないでしょう。「何をやっているの。うちの嫁は（嫁さんは）」ということになります。ですから、核家族の家庭を営んでいる親は自分で自分を厳しく監督しなければ子供にしっかりと家庭教育ができにくい。ぜひ、がんばってほしいです。

それからもうひとつ、こちらは本当に感性の問題です。美しいものを見て美しいと気付く感性を育てることはどなたも考えると思いますが、わたくしは日本の伝統行事を楽しめる心も育てたいと思っています。盆踊り等の四季折々の行事に子供の目を向けたいものです。日本とかざらなくてもよいのです。行事を楽しむ中に、人間が一緒になって何かを楽しむ喜びがあります。お正月が来たら、ミニ門松を室内に飾り、一家そろって朝の食事をする。「明けましておめでとう。」と声をそろえて言える家族であつたらいいと思います。お正月の元旦は、我が家でも、毎年あしたなという家族のまとまりにもよいことですし、気持ち新たにするといいことでも必要なことです。そういうことを子供の代も子孫の代もできるようにきちんとしておく、子供達はそうするものだ、そういうことのできる大人に育っていくでしょう。これらのことは家庭教育でもっとも効果的にできることです。ぜひ、ご家庭で、このようなことに気を使って、お子さまに接していただきたいと思えます。

今号では、東原中学校校長の阪田先生に家庭、家族について日頃お感じになつていらつしやることについてペンを取つていただきました。目まぐるしく変動をとげる複雑な世の中……新聞には連日のように少年事件等の記事……大切なのは家庭教育なのではないでしょうか。わかっていることではありますが、再認識せねばならないと痛感しております。

皆さんはどうお考えでしょうか？。

ぴーちっこ編集委員会

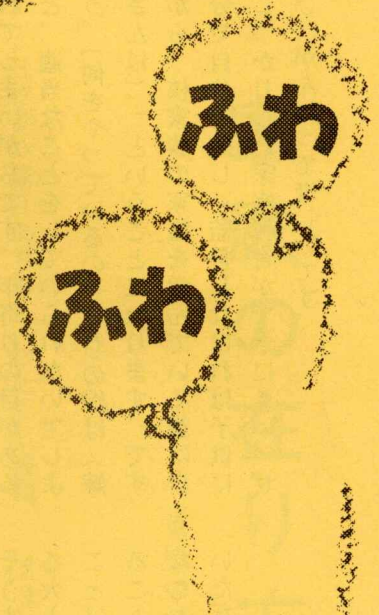


Aグループ (中2〜小6)
 8月6日〜8月9日まで去年と同じく長野県の野辺山にキャンプに行きました。オリエンテーリングでは、26kmもの道のりを完歩しました。ハイキングでは天女山に登り、きれいな景色に感動。
 日中はとにかく暑い!!なのですが、3日目の朝の気温は何と「9℃」シエラフと毛布にくるまりブルブル…全員「夏だ!冬だ!」と大騒ぎ。キャンプ生活には、訓練の成果もあり大分慣れてきました。テントやタープの設営、食事準備も自らの力で出来るようになりました。体力のつくお年頃。来年には、職員がついていくのがやっとなったりして…。



Aグループ とてもきれいな景色に感動!

学園では、子供たちを一定の年齢ごとにグループ分けし、年齢に見合った目標のもと、グループ活動を実施しています。今年の夏も、この活動を通じ様々な新しい経験と、たくさん思い出が出来たようです。

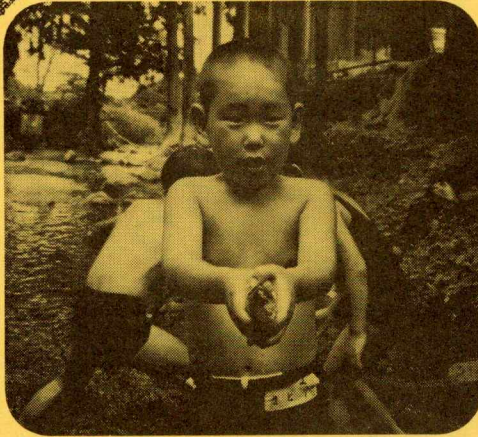


Eグループ (小5〜小3)
 8月3〜5日まで去年と同じ山のふるさと村に行きました。今年は、事前に何度も何度も話し合いをしてきました。そのかいあって、みんな良く頑張りました。アスレチックでは、皆元気でさつさと行ってしまい、置いてきぼりを食ったのは職員です。ナイトハイクでは、満点の星空が見られとても感動しました。
 このグループの良い所は、男女11人がとっても仲のよいことです。自由時間も何をするかと思えば、かくれんぼをしていました。
 いくつになっても、いつまでも仲のよいグループでいてほしいです。



Eグループ
 歩きながら拾ったはっぱや実で自分の好きなものを作りました。





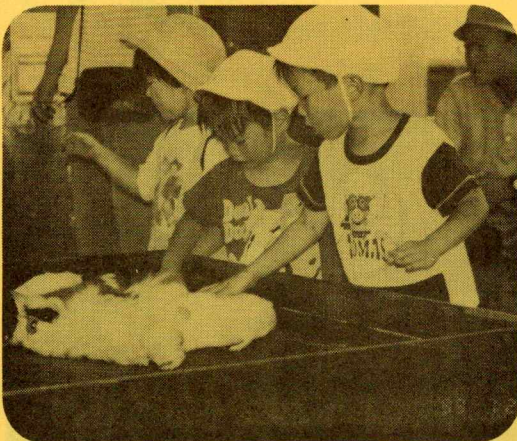
Fグループ 初めてやったマスのつかみどり…
ボクが1番!
川の水はと～っても冷たかった

Fグループ (小2～年長)
7月28日～30日まで神奈川県伊勢原市の日向薬師にある森のコテージに泊まりました。初めての場所で、ムササビがいると聞き早速、夜探検に行きました。昼間一度下見した場所でもあり、子供たちだけで行くんだよと告げ、大人は離れて見ていることにしました。ところが、夜の道は真っ暗でとても怖くて皆でまわりをキョロキョロ。思わず職員もキョロキョロし子供にくっついたほど、皆で一塊になって山道を歩きました。そして大きな声で怖さを吹き飛ばすために歌を歌ったり…。結局ムササビには会えなかったけど、自然に触れたり、いろいろな方に親切にして頂いたり沢山の思い出が出来ました。お世話になったコテージの方に皆でお礼の手紙を書いたら、とっても素敵なお返事をいただきました。来年もまたコテージに行くのを楽しみにしています。

日頃から動物と触れ合ったり、もつといろいろな経験が必要かなと感じる光景でした。
夜は、職員と一緒に風呂。日頃一緒に入ることがないため、身体を洗っている職員をジーンと眺めている姿がおかしかったです(その姿を見た職員は密かに来年までには痩せなくっちゃと心に決めたのです)。活動も浅く、今回が初めてという子も中にはいました。まだまだ、これからが楽しいなグループです。

Gグループ (年中～2才半)
7月22日～23日まで埼玉県狭山市にある智光山公園に行きました。公園内のアスレチックで遊んだり、動物園に行ったり…。
モルモットやウサギ、カメなど普段触った事のないものばかりで、みんな興奮気味。可愛くてニコニコと触っている子もいれば、大泣きして逃げ回っている子もいました。

夏休



Gグループ
ぼくたち、はじめてさわったんだよ…
かわかった♡



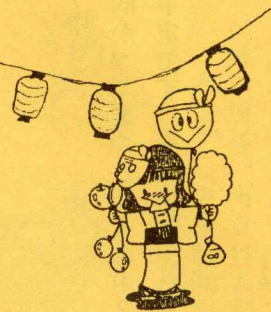
Bグループ (高2～中3)
ただいま受験に向かってまっしぐらの中3は春ごろの活動の予定です。高校生は、ただいま計画中。
Cグループ (高3)
今年で最後のグループ活動。就職に向かって今頑張っています。秋～冬ごろ活動予定です。

「お知らせ」を
お渡しする方法
に変えました。

おたのしみ会に関わる子ども達の様子を追ってみましょう。7月初めの児童会での主旨説明から始まり、ポスター作成（小4く高校生）、係り決め、園庭除草、掃除、模擬店用器具点検、テーブル、椅子等の用意など……。



「お客さまが来てくれるかな？」「食材が残って翌日のメニューはおでん？やきそば？……」など心配の声も聞かれていました。が、お客さまに食券を回しきれない程、「もう売り切れです。」という声がかかれる程の大盛況になりました。また、今年バルーンで子ども達を楽しませてくれた外人さんの協力もあって、例年のない盛り上がりがあった



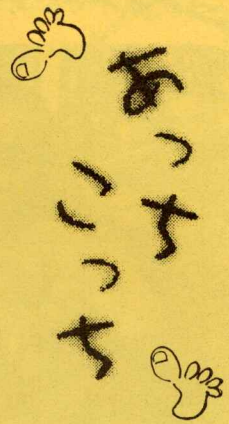
「おたのしみ会 おたのしみにね!!」

「おたのしみ会 おたのしみにね!!」

「おたのしみ会 おたのしみにね!!」

「今回は学園のおたのしみ会を御紹介します。」

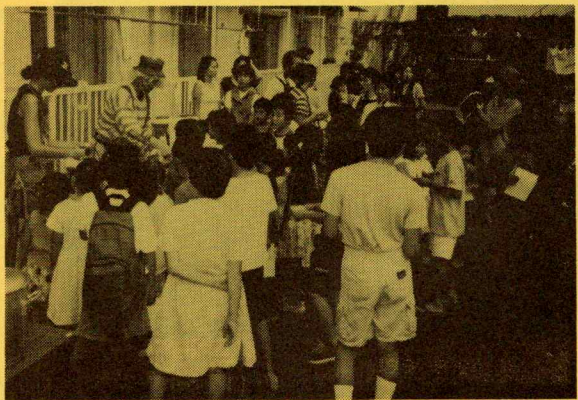
おたのしみ会は、日頃お世話になっている方々への感謝の気持ちと、より学園を理解していただきたいとの願いをこめて毎年8月26日に開催しています。昨年までは、学園からの招待とは別に、子供達もそれぞれの友達を招いていましたが、日頃仲良くしていただいている皆さんにより多く参加していただけるようにと今年



27日の後片付け——、これで終了です。今までと方法をかえて実施された今年のおたのしみ会。「お客さまが来てくれるかな？」「食材が残って翌日のメニューはおでん？やきそば？……」など心配の声も聞かれていました。が、お客さまに食券を回しきれない程、「もう売り切れです。」という声がかかれる程の大盛況になりました。また、今年バルーンで子ども達を楽しませてくれた外人さんの協力もあって、例年のない盛り上がりがあった

そして当日。17時30分の受付開始までの間も更に会場準備で大わらわ。配線を手伝う子、模擬店準備にとりかかる子、テーブル、椅子のセッティングにかり出される子とそれぞれが自分の役割をわかまえ準備に参加してくれています。

模擬店開始後が、又、大変。途切れることのない列に汗だくになりながら接客。中には適当に手を抜く子もいますが、それでも戦力となり職員の期待も大きいのです。自分でやらねば……という気持ちどの子からにもじみ出るひと時でもあります。



こいのけびとまれ

— 23号のアンケートより
皆様の声を紹介します —

- ◆ 僕たち大人も「幼稚園」で学んだことを思い出しながら、日々生活していく必要があるのではないでしょうか。(Tさん)
- ◆ 核家族の中の一人っ子。幼少期の環境としては最悪だ。— 中略 — 少子化風潮は、他人や行政の介入はできない問題なので、行政は一人っ子対策として、児童館などでの半強制宿泊行事の実施・そして若い母親のために「子育て相談所」を設置するなどはどうか。幼少期の環境としては最高の聖友学園で試験的に近所の子、2・3人を預かってみたら、その効果はきめんで、世の母親たちは複数保育の大切さがわかり、少子化傾向の歯止めに役立つと思う。
- ◆ 「あっちこっち」「ふわふわ」で、子どもたちの生活の中の出来事などをいつも楽しく読ませていただいております。なんだかあたたかい気持ちになります。
- ◆ 具体的なボランティア募集もお知らせ下さい。

(Iさん)

(Mさん)

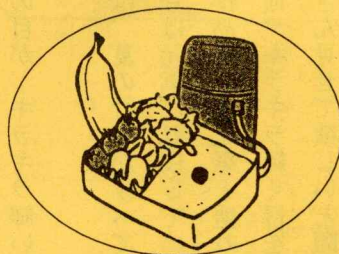
(Mさん)

学園より……いつも様々なお声を本当にありがとうございます。これからも皆様の叱咤(!!) 激励(!!) をたのしみにしていきます。なお、具体的なボランティアアに関するは、区のボランティアセンターと連携をとって募集させていただきますので、センターの方にお問い合わせいただけますので、センターの方にお問い合わせいただければ幸いです。



学園の子供たちが通っている小学校の給食室の改修工事が始まりました。小学生17人は2・3学期の7ヶ月間にわりお弁当を持参することになったのです(なんと幼・小・高校生含め29人分!のお弁当を毎朝用意します)。

朝一番で調理からお弁当のおかずが人数分届き、子どもたちはと言えば、お弁当を自分で詰めるのは新鮮な体験のようで、好きな物?はたーくさん詰めたりと、ワイワイ楽しくやっているようです。経費的・手間的にも、ずい分負担は大きいのですが、何とかやりくりしながら「おいしく楽しいお弁当」のために、子どもたちと共に励んでおります。(お楽しみにしていただいている(?)レシピ紹介は今号はお休みさせていただきます。次号にご期待下さい。)



「ぴーちっこ」は、今を生きる子どもたちについて皆様と話し合う広場です。

日頃子どもと接する中でふと気づいたこと、感じたこと、又お悩みになつてゐることなど、身近な話題や情報をお気軽にお聞かせ下さい。お待ちしております。

「ぴーちっこ」は年3回発行しておりますが、ご希望の方には毎回ご送付させていただきます。送料等無料です。ご住所・ご氏名・電話番号をご連絡下さい。

「ぴーちっこ」の内容に関するお問い合わせ、寄稿のあて先等は下記のとおりです。

〒166-0001 杉並区阿佐谷北3-28-19

聖友学園ぴーちっこ係

電話 03(33338) 1844

FAX 03(33338) 1894

ありがとうございました。

次の皆様よりご協力を頂きました。厚く御礼申し上げます。

(平成十一年六月〜八月。 敬称略)

〈寄付金〉

野村栄子、小松屋豆腐店、越前屋米店、モモヤ、西島畜産、遠藤果実店、広瀬青物店、ワタナベ文具店、富美屋、道原商店、三井精肉店、五十嵐青果店、海藤電気商会、中央花壇、世尊院幼稚園、シャレード清水、東和開発(株)、東京青少年文化協会

※前号において、四月五日にご寄付いただきました東和開発(株)様についての記載漏れがあり、大変失礼いたしました。心よりお詫び申し上げます。

〈寄付物品〉

アイエヌジー生命保険(株)、東京都食肉環境衛生同業組合、日本出版労働組合、原春男

〈ハースデーフレンド〉

尾島陽子、嵐万佐子、大沢芳子、丸翠、森真理子、中村範子、神崎早苗、宮秋智子、善塔和子、野村栄子、小出邦子、高山千賀子、松沢勝子、秋庭英子、福山はつ子、中島省吾、阿部朱美、角田馨

〈招待〉

キリンビール(株)広報部社会貢献室(サッカーキリンカップ観戦)、東京海上火災保険(株)、社会環境室(サッカー交流会)

編集後記

先日、「ねえ、ねえ、みてー、トンボつかまえたー。ぼくがつかまえたんだよ。」6才の男の子が興奮気味に玄関に飛び込んで来ました。そして、昆虫鑑を広げ、「オニヤンマかなー。」見比べているその目が、キラキラ輝いていました。

さて、学園では、夏の行事がすべて終り、子どもたちは元気に登校しています。運動会、作品展、文化祭と盛りだくさんの二学期。キラキラ輝く目をたくさん、たくさん見せて欲しいと願っています。